

9 P T A活動紹介(小学校)

～みんなの笑顔のために～

西都市立茶臼原小学校
教 頭 青山 勇一

西都市の中心市街地・妻から8kmの位置にあり、高鍋、木城、新富の4地区からおおよそ等距離に囲まれた標高130mの台地の中心に位置する茶臼原小学校。近くには、茶臼塚と呼ばれる55基の古墳群があり、一ツ瀬川を挟んで西都原古墳群とも向かい合う古い歴史と豊かな緑に囲まれた学校です。また、近代児童福祉の父といわれる石井十次先生が孤児院を開いた地でもあり、現在も石井記念友愛社がその意志を引継ぐ「博愛の心」と、この土地を拓いた「父祖の開拓者魂」は、本校教育の精神基盤ともなっています。

本校の児童数は45名で、P T A戸数は19戸となり、年々減少傾向にある小規模校ではありますが、保護者や地域の方々、教職員が一体となって、「かかわり」と「見届け」を基盤とした人間力の育成を推進しています。全保護者が一体となって、年間の様々な活動に積極的に関わり、教育環境の整備と環境緑化に献身的に参加をしています。

本校のP T A活動は以下のような組織で行っています。

- ・三役会・・・企画会・合同部会の計画・運営等
- ・事業部・・・奉仕作業の計画・立案、害虫駆除、凧あげ大会の計画・立案
- ・支援部・・・生徒指導、ミニバレー大会の計画・立案、学校保健委員会の運営、広報活動
- ・家庭教育学級・・・家庭教育学級の計画・立案

このP T A活動のいくつかを紹介します。

○奉仕作業

年3回の奉仕作業には、全保護者が参加するとともに、子どもたちや教職員も一緒に活動しています。本校はとても広い敷地ではありますが、各家庭から持ち寄った「ホイールローダー」「ショベルカー」「ダンプ」「トラック」などの重機を使うので、効率よく作業を行うことができます。そのため、本校の運動場や中庭はいつもきれいな芝生で覆われています。他にも、子どもたちの栽培体験活動のサポートとして、イモ植えや大根栽培の整地をしたり畑を耕したりする作業も行っています。



○PTAミニバレーボール大会

例年、6月にPTAミニバレー大会を実施しています。本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりましたが、いつも楽しく和気あいあいと参加できる大会です。本校の特色は、学級対抗や地区対抗ではなく、当日参加した人がくじを引いてチームを分け戦うので、誰とでも仲良くなれるところです。

毎年、笑いありハッスルプレーありの賑やかな大会となり、その後の懇親会も大変盛り上がります。



○凧あげ大会



毎年、1月にPTA主催で「凧あげ大会」を実施しています。12月の参観日に「穂北づくり協議会子ども未来部会」の方々と保護者の方々に教えてもらいながら凧を作ります。その時に作った凧を大会であげます。また、地区子ども会で作った大だこや連だこもあげます。さらに、PTAによる審査（デザイン賞やあがった高さを競う賞）があり、素敵な賞品ももらえるので子ども達は大喜びです。終了後は、お母さん方が朝から心を込めて作った豚汁とぜんざいをみんなでいただきます。新年を祝う楽しい大会となっています。

○家庭教育学級

家庭教育学級は、年間6回を計画しています。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら開催しました。第1回目の講座は「マスク作り」でした。今もっとも必要とされているマスクの作り方を学ぶという大変タイムリーな講座でした。みんな熱心に取り組み、自分や家族の素敵なマスクを仕上げていました。他にも心肺蘇生法講習会や子育て講座を開催しました。



このように、本校のPTA活動は子ども達はもちろん、保護者や地域の方、教職員等みんなが笑顔になれるように、協力しながら楽しんで取り組んでいます。